

令和 5 年度 第 1 回守山市健康づくり推進協議会

日時：令和 5 年 6 月 7 日（水）

午後 2 時から午後 3 時 30 分

場所：守山市コミュニティー防災センター  
1 階研修室

1 出欠状況

(1) 出席者（13 名）

岡村会長（リモートによる出席）、福田副会長、間下委員、三品委員、富田委員、藤本委員、中井委員、小林委員、樋上委員、遠藤委員、山本委員、藤澤委員、北野委員

(2) 欠席者（2 名）

朝見委員、大谷委員

(3) 事務局（11 名）

健康福祉部 高橋理事、池田次長

すこやか生活課 堀江課長、川中参事、金沢係長、百田主査、竹村保健師、中野歯科衛生士、岩波

株式会社地域計画建築研究所 廣部氏、渡邊氏

(4) 傍聴者 なし

2 内容

(1) 開会

(2) 会長および副会長の選出について

会長：岡村 智教 委員、副会長：福田 正悟 委員

※当日は、岡村会長がリモートによる出席のため、会議の進行については、福田副会長が代行

(3) 協議事項

ア 令和 4 年度実績および令和 5 年度取組について

| 発言者  | 内容                                               |
|------|--------------------------------------------------|
| 事務局  | 資料 1 について説明                                      |
| 遠藤委員 | ナッジ理論を活用した受診勧奨の啓発チラシとは具体的にどのようなものか。              |
| 事務局  | ナッジ理論とは「そっと後押しをする」という意味であり、受診を後押しするような内容で作成している。 |

|       |                                                                                                                                                                                        |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 福田副会長 | 具体的には見ていただかないと分からないが、要するに後押しする、サポートするという意味である。                                                                                                                                         |
| 事務局   | 例えば、約 9,000 円の健診が無料で受けられることを強調するなど、「お得感」が出るような内容としている。                                                                                                                                 |
| 山本委員  | 「お得感」は重要だと感じている。健康になることが目的ではなく、その人がどのように生きたいか。その人の生きがいや楽しみを実現するための大きな手段が健康という考え方が大事と感じている。                                                                                             |
| 藤澤委員  | 健診を受けたらどの程度お得なのかを伝えるのはよい。<br>毎日子どもと接しているが、子どもたちは健康に興味を持っているので、教育現場でできることがあればよい。                                                                                                        |
| 北野委員  | 4 つの計画の振り返りということだが、歯科と自殺対策の資料がない。4 つのうち 2 つの振り返りでよいのか。                                                                                                                                 |
| 事務局   | 資料 1 では、第 2 次健康もりやま 2 1 と第 2 次守山市食育推進計画で挙げている重点事業の「健(検)診受診率向上対策」、「運動」、「食育」について説明させていただいた。<br>生涯歯科や自殺対策については、既に開催させて頂いた各部会の内容を踏まえ、協議事項 2 で振り返りを行い、今後の計画策定に向けまとめていく中で本協議会でも振り返りを行う予定である。 |
| 中井委員  | 子宮頸がん検診のクーポンについて、送付 513 通のうち使用数が 22 名となっている。ほとんど利用されていないが、同じ取組を継続するのか。                                                                                                                 |
| 事務局   | 子宮頸がん検診のクーポン対象者は検診開始年齢となる 20 歳の方である。513 名が対象者だったが、利用者は少ない状況にある。若い方の受診率は低く、課題だと感じている。                                                                                                   |
| 福田副会長 | 若い女性の子宮がん検診の受診率は低いため、向上へのアイデアをお願いしたい。                                                                                                                                                  |
| 藤本委員  | 子宮頸がん検診については 20 歳からということで、恥ずかしさがあるように思う。自分から進んで探して受診することは難しいので、大学等での働きかけもあるとよいかもしれない。<br>自分の健康は自分で守る必要があるので、健康推進員として食育の重要性について市民に働きかけをしていきたい。                                          |
| 富田委員  | モリーブで推定野菜摂取量測定イベントをしており、よい取組をしていると感じている。これからも機会を作ってもらいたい。<br>家族に健診に行かない理由を聞くと、「病気が分かるのが怖い」と言っている。自分が病気と言われるのが怖い人もいる。「こんな症状あ                                                            |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | <p>りませんか？」を乳幼児健診などで親世代の目に入るとよいのではないか。</p> <p>また、高齢者は頭が痛い、目が見えない、歯が悪いなど、症状が出てからでないと行かない。</p>                                                                                                                                                                |
| 三品委員 | <p>動画広告啓発を実施しているが、今時の内容で効果があると思うが、これは掲載されているだけで、何か他の啓発と併用はしていないのか。</p>                                                                                                                                                                                     |
| 事務局  | <p>これまでの啓発方法である広報、チラシに加えて、昨年度は女性をターゲットに動画広告を実施した。</p> <p>広告の掲示回数は目標値の 220% の効果が出ていると評価している。一方で検診の受診率は微増に留まっており、引き続き、啓発をしっかりと行う必要がある。</p>                                                                                                                   |
| 間下委員 | <p>動画はどこに流れているのか。視聴したことがない。</p>                                                                                                                                                                                                                            |
| 事務局  | <p>今回の動画広告対象者は、30 代から 50 代、女性、守山市在住などの条件を絞り、飛ばすことのできない広告として YouTube 動画を視聴時に表示されるよう設定していた。</p>                                                                                                                                                              |
| 間下委員 | <p>動画広告から予約までできるとよいのではないか。</p> <p>また、BIWA-TEKU の啓発チラシは平和堂に置いてあるのか。実施していることを知らなかった。QR コードからダウンロードできるなどすれば、良いのではないか。</p>                                                                                                                                     |
| 事務局  | <p>動画広告から女性専用の市 HP へ遷移するようリンクを貼っている。</p> <p>また、BIWA-TEKU の啓発チラシは平和堂でのイベント時に置いており、市内各所にも掲示している。</p> <p>また、こちらから送付する封筒やハガキにも QR コードを掲載した BIWA-TEKU 案内文を掲載しており、少しでも目に留めていただけるようにしている。</p>                                                                     |
| 岡村会長 | <p>資料 1 の参考について、特定健診等の受診に関連して、市でどのような呼びかけをし、効果が出ているかをグラフで記述しているが、こういう形にすると分かりやすい。</p> <p>広報については、いつどれを使えば効果的かは検討の余地がある。自然に受診するようになることが狙いである。試行錯誤しながら最適解を探っていく段階なので、どうすれば健診や検診の受診が普及するかを一緒に考えていきたい。</p> <p>また、他市の状況について、費用対効果を見て、効果がありそうなものを順次取り入れても良い。</p> |

|       |                                                           |
|-------|-----------------------------------------------------------|
| 福田副会長 | 有効な啓発方法（ハガキの出し方など）を検討した方がよい。今年度の協議会は４回あるため、それを提示していただきたい。 |
|-------|-----------------------------------------------------------|

イ 第３次健康もりやま２１の策定について

| 発言者   | 内容                                                                                                                                                                                                        |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局   | 資料２、資料３について説明                                                                                                                                                                                             |
| 福田副会長 | 質問やご意見等をお願いしたい。                                                                                                                                                                                           |
| 間下委員  | 薬剤師会として、会員の中でうつ、自殺に対する研修を実施している。健康の啓発活動として薬物乱用についてのイベントの開催を１０月頃に実施している。<br>食育分野で守山市の伝統料理とはどのようなものがあるのか。                                                                                                   |
| 事務局   | 守山には漁港があり、湖魚が取れるので佃煮がある。また、守山市の伝統野菜としては、笠原生姜や矢島かぶらなどがある。                                                                                                                                                  |
| 三品委員  | 評価結果からの課題として、ロコモティブシンドローム、フレイルが挙げられるが、地域や自治会で活動しようとしても、なかなか動けない状況にある。少し体が悪くなってきた方を誘えるようにしたいが、参加人数、目標など制約がある状況。柔軟にできる方法はないか。                                                                               |
| 福田副会長 | 一人ひとりの健康状態が異なるので、参加促進には柔軟な対応が大切である。医師会の先生方と相談すると、参加要件など、ある程度のところでラインを引けるのではないか。                                                                                                                           |
| 富田委員  | 朝８時からラジオ体操をしている。月曜日から金曜日、９４歳の方に対して、９２歳の方が「あんたは元気でよろしいな」と言っており、そのお二人よりもう少し下の年齢層の人たちがお二人の元気さに憧れている。<br>ラジオ体操の実施で毎朝見守りができている。ラジオ体操実施には準備をしないとイケないが、民生委員、福祉協力員、自治会で協力し合って頑張っている。水曜日は百歳体操もあり、６０歳から８０歳の方が行っている。 |
| 福田副会長 | このようなラジオ体操の取組を把握しているのか。                                                                                                                                                                                   |
| 事務局   | 介護予防の取組は機会を作って、把握するようにしている。                                                                                                                                                                               |
| 藤本委員  | 朝ごはんの摂取率が低下しているが、若い子は夜更かしをして、朝はドタバタしてごはんを食べられない傾向があるのではないか。<br>今のお母さん、お父さんたちを育てたのが自分たち世代。今のお母さん、お父さんたちも仕事をしていて忙しい。朝ごはんを準備するのは大変だと思うが、健康推進員としては朝ごはんを普及啓発した                                                 |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | い。                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 北野委員  | 食育の目標達成率が一番低くなっている。安全性が下回り、安価を求める傾向になっている。結局は市民一人ひとりが課題に協力しないと目標は達成しない。いかに働きかけるか、行政にやっていただくしかない。市民の意識が定着するようにお願いしたい。                                                                                                                                              |
| 中井委員  | <p>コロナ前は運動のイベント等を実施していたが、コロナになって参加者が激減した。コロナが落ち着いたので参加者を増やしていきたい。</p> <p>障害者の交通手段がなく、参加したくても参加できない状況にある。10人以上が集まればバスを借り上げて県の様々なイベントに参加できるが、今はそこまで人数が集まらず、個人の車でしか参加できない状況である。</p> <p>守山市内で完結できればよいが、遠方での開催も多く、移動手段の確保が難しい。</p>                                     |
| 福田副会長 | 市として何かしらサポートができないかを検討していただきたい。                                                                                                                                                                                                                                    |
| 藤澤委員  | <p>子どもたちは食育に関心を持っているのだが、朝食の欠食率は20代の男性が多く、小中学校の習慣が活かされていないのが残念である。大人になっても続けるように子どもたちに伝えていきたい。</p> <p>コロナの影響でラジオ体操を辞めている自治会も増えている。朝、ラジオ体操を実施しているところをみると、様々な年代の方が参加しており、とてもよい取組である。夏休みはこどもを地域で育ててもらう時期であり、教育現場でも夏休み前にアナウンスを実施していきたい。</p>                             |
| 山本委員  | <p>この会議に出席されている委員から活発に意見が出ており、地域の健康づくりの推進に、心強いと感じた。</p> <p>保健所ではコロナ対応等で健康づくりの取組に注力できていなかった時期があった。これからは働き盛り世代への取組は大事である。職域との連携を行い、保健所だけでなく市の取組と連動して実施していきたい。</p> <p>県でも2次計画の評価をしながら3次の計画策定を進めている。情報共有しながら、進めたい。</p> <p>計画は4計画を一体的に統合されるとのことだが、協議会や検討の場は残されるのか。</p> |
| 事務局   | 歯科、自殺は部会として残す。現行の会議体のままの予定である。                                                                                                                                                                                                                                    |
| 山本委員  | 食育と健康はこちらの協議会になるのか。                                                                                                                                                                                                                                               |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局   | その予定である。                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 遠藤委員  | こころの健康対策、ストレスチェックを実施して数年経つが、フォローや産業医への診察を促しても受診には至っていない。何かしらのストレスを抱えている人へのフォローを行い、話を聞いて改善の方向に向かえばよい。                                                                                                                                                                                              |
| 事務局   | 昨年度より不眠症状に着目した啓発事業を実施している。駅前ではポスター掲示、広報などで啓発をしている。相談機関へ繋げる取組を行っている。                                                                                                                                                                                                                               |
| 樋上委員  | 健康経営に取り組んでおられる企業もある。イベントへの協力、健康に関するブースを出すと意識付けになるのではないか。産後は精神的にも不安定になりやすい時期である。他府県から守山市に引っ越して、周りに頼れる親族や知り合いがいない状況で、お子さんが生まれる方も多い。産後うつのフォロー、周りとのつながりがいない人へのフォローをお願いしたい。                                                                                                                            |
| 福田副会長 | 産後うつについても自殺対策として取り組んでいる。                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事務局   | 現状では、母子手帳発行時に保健師による面談を行い、問診のなかでリスクチェックを行い、フォローをしている。<br>また、新生児訪問の際にも心配事や悩み事への相談に対応している。                                                                                                                                                                                                           |
| 小林委員  | 「健康寿命の延伸」については改善している。悪化した内容はメタボの該当者、予備群、運動などである。直接に健康寿命と関わっているのかわからないが、一方は改善しているが一方は悪化している。悪化している内容は次の世代に関係する分野であり、悪い印象を受けた。<br>スポーツ推進委員として、スポーツ振興課と運動のきっかけづくりに取り組んでいる。野洲川のマラソン、駅伝、スポーツフェスティバルを実施している。スポーツフェスティバルではこれまでのコーナーに加えて、体験コーナーを作り、バドミントン、卓球、サイクリングなど当日に楽しめるメニューも作っている。家族連れで気軽に参加してもらいたい。 |
| 岡村会長  | これから計画策定に関わるが、関係機関団体等のヒアリングと併せて、評価を踏まえながら計画策定をしていくことになる。忌憚のないご意見をお願いしたい。<br>国の目標値を総論的に入れ込むと、市としてどこに重点を置くか分からなくなってくる。守山市がどの健康施策を重点的に実施するか、                                                                                                                                                         |

|      |                                                                     |
|------|---------------------------------------------------------------------|
|      | 重点項目だとわかるようにしていただきたい。それこそが市民のためになるのではないか。<br>具体的に計画が出てきたら審議することになる。 |
| 間下委員 | 健康サポート薬局がお手伝いできるかもしれない。市内に３店舗ある。                                    |

(4) その他

| 発言者 | 内容                                                                |
|-----|-------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | 各団体に向け、健康に関するヒアリング調査をさせていただく。書面で調査票を送り、いただいた結果により対面でのヒアリングを実施したい。 |